

学研労協 NEWS ニュース



‘22年春闘学習会が開かれました

2022年2月24日夕方6時から、学研労協主催の春闘学習会がオンライン形式で開催されました。基本的に、人事院の国家公務員給与勧告は毎年4月の民間企業従業員の給与水準を基準として決定されるため、春闘学習会は民間企業の来年度の給与水準を決める春闘の時期に合わせ毎年2月に行われています。今年は、開催時点でコロナ感染症に対する「まん延防止等重点措置」が実施されていたことから昨年と同様にZoomによるオンライン集会として開催され、学研労協加盟の各単組から15名が参加して約2時間にわたって行われました。

まず、日本国家公務員労働組合連合会（国公労連）中央執行委員の中岡淳氏を講師としてお招きして、「2022年春闘をめぐる情勢と課題」と題して講演されました。講演では、今年の春闘の意義や取り巻く情勢の解説から2022年春闘の基本方針とその課題毎の取り組み方針などについて、豊富な資料を示しながら解説されました。その内容には切実な問題となっている「非常勤職員制度の抜本改善」「高齢期雇用・定年延長の問題」や組織強化拡大し労働組合を強く大きくするための方策とそれに向けた活動について説明がありました。講演後の質疑応答では講演内容の背景にある基本姿勢にまで議論が及び熱心な討議が行われました。

講演に続いて、学習会参加者から各単組における春闘期の組合の取り組みについて報告がありました。既に閣議決定されている国家公務員ボーナスの引き下げを独立行政法人に適用を反対する活動や定年延長時の待遇改善要求など、各単組がそれぞれの職場環境改善につながる活動が報告されました。